

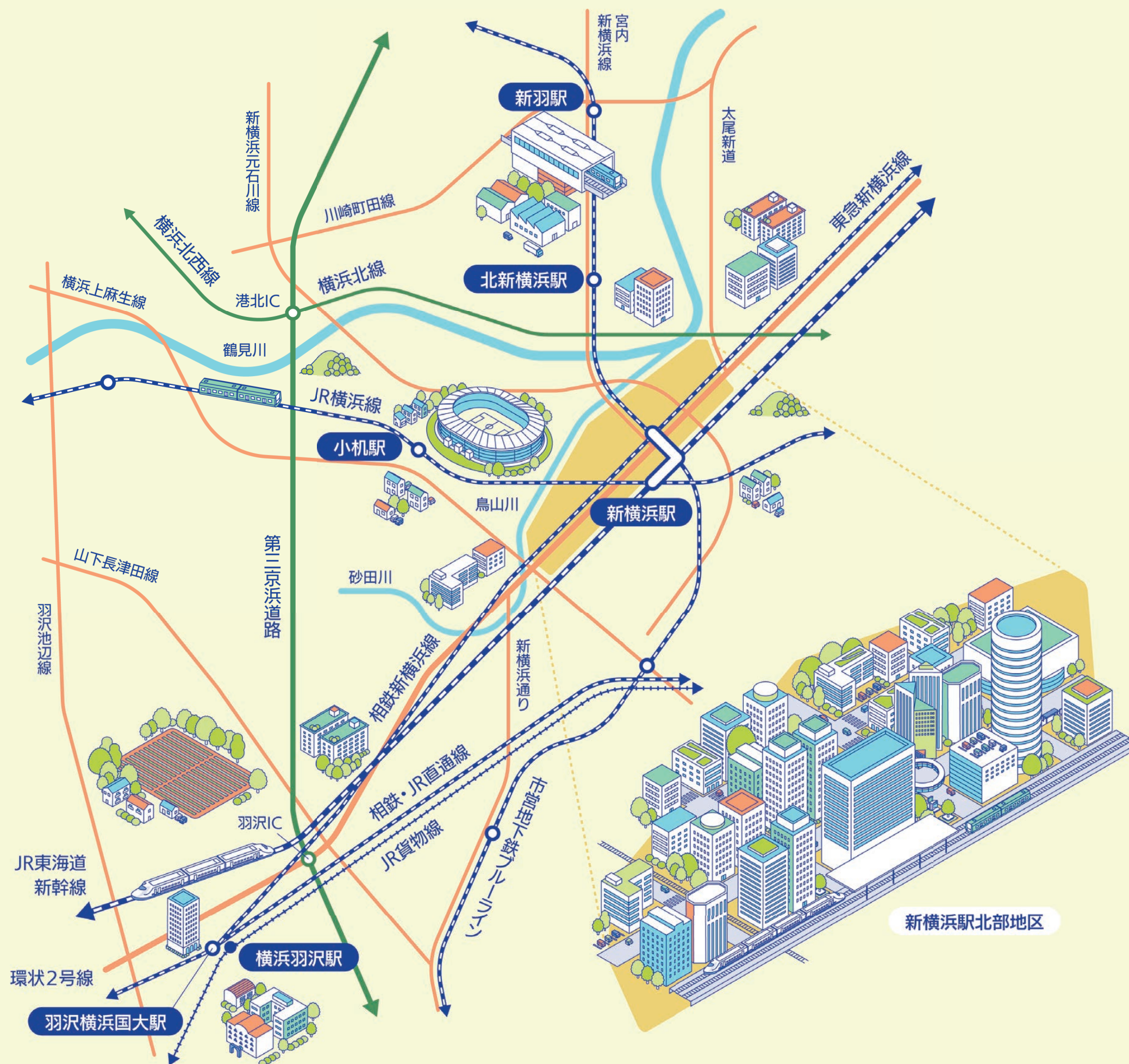
つどう つながる シンヨコ 新横浜

新横浜駅北部地区まちづくり方針

「つどう つながる 新横浜」は
ワークショップで提案されたキャッチフレーズです。

本方針では、愛称として
「新横浜 (しんよこはま)」を「シンヨコ」としています。





1975 (昭和50) 年の土地区画整理事業の完了から50年。新横浜は大きく発展し、横浜経済を支えてきました。

横浜市は、少子高齢化や自然災害の激甚化などを背景に、転換期を迎えています。こうした状況下でも、新横浜の強みを生かして魅力をさらに高め、新横浜ブランドを確立し、将来へつないでいくために、「まちづくり方針」をまとめました。

新横浜に働き、暮らし、訪れる全ての方々が、つどい、つながり、愛着を感じられるまちづくりに、これからも地域の皆様と一緒に取り組んでいきます。

新横浜駅北部地区

まちづくり方針の生かし方

みんなで新横浜が目指す未来を思い描き、意見を交わし、共感する。

横浜市都市計画マスタープラン等の上位計画に基づく方針であり、みんなの「思い」として大切にする。

方針に示している目指す未来に向かって、それぞれの役割を持って、まちづくりに取り組む。

新横浜の魅力を将来につなぐ

01. 新横浜の今とこれから	10
01-1 横浜の陸の玄関口	11
01-2 進化しつづける新横浜	15
01-3 新横浜らしい街並み	21
01-4 新横浜でつながる	25
01-5 新横浜の環境	31
01-6 新横浜の安全安心	35
02. 新横浜のこれからのために	40
02-1 つどい・つながりと技術の活用	41
02-2 特性を生かす	43
03. 巻末資料	48

新横浜駅北部地区の範囲：港北区新横浜一・二・三丁目他

本方針では、当該地区を中心とした範囲を「新横浜」として設定しています。



新横浜の魅力を将来につなぐ

新横浜の大きな魅力の一つに「地域力」があります。

この地域力の源となっている、新横浜町内会、新横浜自治会、アデニウム新横浜自治会の皆様から、新横浜の今とむかし、改善したいこと、挑戦したいことなどをお聞きし、この方針をまとめました。

ご協力いただいた各会の会長から将来に向けたメッセージを寄せていただきました。



新横浜町内会は、日本を代表する企業や住民等で構成し、住みよく働きやすい環境づくりを目指して、まちの美化や防災、防犯等に取り組んでいます。

本地区は、“顔のわかりあえる仲間づくり”をモットーに1991（平成3）年から開始した「新横浜パフォーマンス」や「盆踊り」、防災の炊き出し訓練も兼ねた「餅つき大会」等の親睦行事を定期的に開催するなど、町内会の枠にはまらず広く受け入れる器があります。

このまちの魅力を多くの方々に知っていただくとともに、一緒に楽しんでもらいながら、将来にわたり発展し続けることを願います。

新横浜町内会 会長 金子 清隆

新横浜自治会は地区内の住民で構成し、より暮らしやすいまちとなるよう活動しています。

地区内には、新横浜一丁目を中心に共同住宅が建ち並び、約13,000人の住民が暮らしています。さらに豊かな住環境を目指して、生活に根差したお店や飲食店の充実、駅へのアクセスの向上が進むなど、この方針によって実現につながることを期待しています。

私は、新横浜で生まれ育ちまちが変わっていく姿をずっと見てきました。みんなに故郷と感じてもらえるまちになってほしいと思います。

新横浜自治会 会長 高橋 稔

新横浜一丁目は、スーパーや地域交流ができる場所など、充実してほしい施設がありますが、駅や幹線道路が近い便利な場所であるとともに、鳥山川や新横浜駅前公園が接している自然豊かな環境のなかにある閑静な住宅街として、穏やかな時間を過ごしています。

将来にわたって子や孫にとっても安心して暮らせるまちであるために、住民同士の支えあい、新横浜町内会や新横浜自治会とのつながり、横浜市の取組が連携して、まちづくりが続いてほしいと思います。

アデニウム新横浜自治会 会長 石井 義政

シンヨコ 新横浜のなりたち

新横浜は、小机城址と篠原城址の間に位置し、かつて鴨猟を行う鴨場があったとの言い伝えがある平地で、田畑が広がる田園風景から現在の姿へ移り変わっています。

1964 (昭和39) 年に、東京オリンピックにあわせて整備された東海道新幹線の新横浜駅と、横浜線の新横浜駅が開業するとともに、土地区画整理事業が開始しました。1965 (昭和40) 年には、港北インターチェンジが開設され、第三京浜道路が全線開通、1970 (昭和45) 年には、新横浜陸橋の開通にあわせ、環状2号線が開通しました。

平成に入ると、横浜アリーナ、横浜労災病院、横浜国際総合競技場など横浜を代表する施設が続々と開業し、オフィスビル等とともに今日の新横浜の街並みが形成されました。

さらに、横浜環状道路横浜北線・横浜北西線や、相鉄新横浜線・東急新横浜線の開通により、交通結節機能が高まるなど、横浜の“陸の玄関口”として発展し続けています。



シンヨコ 新横浜ブランドをみんなで作る

【目指す姿】



新横浜ブランドを
具体的に描き
実現していくために

まちづくりの方向性を示す6つのテーマ

- ▶ 横浜の陸の玄関口
- ▶ 進化しつづける新横浜
- ▶ 新横浜らしい街並み
- ▶ 新横浜でつながる
- ▶ 新横浜の環境
- ▶ 新横浜の安全安心

これからの取組の視点を示す2つのテーマ

- ▶ つどい・つながりと技術の活用
- ▶ 特性を生かす

新幹線が走り、横浜アリーナがにぎわい、鳥山川で安らぎを感じ、オフィスビルで経済活動が動き、住まいで穏やかな日々を過ごす。住民と企業がともに地域イベントを楽しみ、防災活動も盛んなまち。

まちの魅力を磨き、交流を深め、新しいビジネスを生み出し、暮らしの質を高めていく。「行きたい、働きたい、暮らしたい新横浜」を実現していくために、新横浜ブランドをみんなで作っていきます。

